



からだのとしょかん通信

病気について知りたいあなたに、分かりやすい医学情報を集めました。

外来棟 2 階の「からだのとしょかん」をご利用ください。娯楽書もあります。

2017年1月号

◆「免疫療法」、連載最終回、担当は内科の三浦先生です。次頁は「手の洗い方をご紹介します」。

皆さんはどのくらい「正しい免疫療法」というものを知っていますか？ 第 4 回

～自分の身は自分で守る 免疫チェックポイント阻害剤による副作用～

内科 三浦 理

前は免疫チェックポイント阻害剤による副作用である「免疫関連副作用」についてご紹介しました。この「免疫関連副作用」は、起こる確率は低いですが、一旦起こってしまうと結構大変な副作用になりますので、十分知識をもったスタッフ、病院で治療を受けることが、あなたの身を守るためには重要です。

命に関わる「免疫関連副作用」として、まずあげられるのは「薬剤性肺障害」です。

これは、本来がん細胞を攻撃すべき免疫細胞が、間違えて肺の細胞を攻撃してしまうことで起こります。これによって熱や咳が出て、息が苦しくなり、悪くすると命に関わります。



その他に腸を攻撃すれば「大腸炎」が起こり、大変な下痢を起こします。これらの副作用に対しては、早期発見してすぐに免疫をおさえる薬であるステロイド剤を投与することで治療します。

また、体調を調節するホルモンを出す甲状腺、副腎、下垂体とよばれる臓器も免疫細胞のターゲットになりやすいことが知られています。これらの臓器が攻撃されると、壊された臓器からホルモンが血液の中に流れ出てきてホルモンが多すぎる状態になったり、臓器から出るホルモンが足りなくなったりします。この場合には血中のホルモンの状態を正しく評価して、足りなくなったホルモンを補充すれば殆どの場合問題なく治療を続けることが出来ます。まれですが、血糖値を下げるためのホルモンであるインスリンを分泌する臓器であるすい臓が免疫細胞に攻撃されると突然糖尿病になったりします。これをほうっておくと、血糖値が急激に上昇して命に関わる事態になる可能性があります。この事態を事前に見つけるため、当院では尿のなかの糖分を測定する試験紙（テストテープ）を患者さんにお勧めしています。



これらの副作用は早く発見して、早く治療することが何より重要です。しかし、ほとんどの患者さんは免疫チェックポイント阻害剤治療を外来で受けて頂くことになりますので、外来の検査で発見したときにはもう手遅れの可能性もあります。すなわち自分で体調の変化に気づかなければなりません。そのために患者の皆さんも副作用のことを勉強して、早期発見に努めていただきたいと思います。

今回までに合計 4 回にわたり、免疫チェックポイント阻害剤による免疫療法についてご紹介してきました。免疫チェックポイント阻害剤は新たながん治療の柱の 1 つとして、これから多くのがんに使われるようになることが期待されています。まだ、すべてのがんを克服する、とまではいえませんが、希望の光は見え始めています。

新潟県立がんセンター新潟病院では免疫療法サポートチーム（アイ・シンク iSINC）を組織して、患者さんはもちろん、医師やスタッフが安心してこの治療に取り組めるようにサポートする体制を作っています。何かご不明な点があれば、ぜひ気軽に周りのスタッフにお尋ねください。



◆インフルエンザの予防 ～手の洗い方～

感染制御チーム(Infection Control Team、ICT)

武石雅幸

例年 12 月～3 月頃に流行するインフルエンザ予防として、今回は正しい手の洗い方について紹介します。

手洗いは、

①石けんを泡立てながら手のひらどうしをよくこすり合せます。

②次に両手の甲をこすり洗い、

③指先、爪の間を念入りに擦ります。

④その後、指の間を洗います。

⑤さらに親指と手のひらをねじり洗いでよく洗います。

⑥最後に手首を洗いましょう。

手洗いは、石けんを使い最低 15 秒以上かけて洗うようにしてください。

インフルエンザシーズンには、ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスがたくさんつく可能性があります。外出先から帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手洗いをするのが重要です。

手を洗うことができないときには、アルコール擦式製剤の使用も有効な方法です。しかし、汚れを落とす効果はありませんので、手が目に見えて汚れている時には、石けんと流水による手洗いを行いましょう。

アルコール擦式製剤は、その使用量により手指消毒効果に差がみられることが報告されています。

手指全体に薬液が行き渡る十分な量を使用することが必要です。

必要量は、製剤によって異なりますが 15 秒以内に乾かない程度の量が必要で、目安は、液状製剤の場合約 3mL 、ゲル状製剤の場合約 2mL 以上です。

引用：厚生労働省 啓発ツール

- ・マスク：政府インターネットテレビ「インフルエンザ予防のために～手洗い・マスクのススメ」より改変 <http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg7362.html?t=46&a=1>
- ・手洗い：手洗いポスター

